

【経営の概要】

水稲 6 ha、バラ切り花（ロックウール栽培） 53a（1600坪）

【対策の内容】

○ バラ切り花ハウスの原油価格高騰対策の取組

- 1 ハウス外張りの空気膜 2 重構造化（屋根及び妻面）
- 2 加温温度の変更（19℃設定→17℃設定へ変更）
- 3 作型の変更（周年切り→冬期休眠型への変更）
- 4 内張およびサイドカーテンの 2 重化（従来から実施）

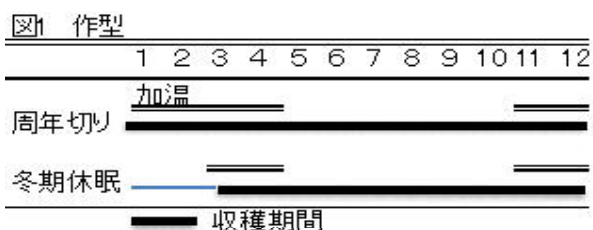


図 2 空気膜 2 重構造（屋根）

【対策の実践効果】

- 1 ハウスの空気膜 2 重構造化の追加費用は 194.4 万円/10a で、3 年償却とすると年間 64.8 万円、追加の電気料を含めると約 70 万円/10a の費用増となった。
- 2 加温温度及び作型変更により、収量は約 10 % 減少し、約 75 万円の減収となったが、燃料使用量は大幅に削減できた。
- 3 この対策により、約 12 % の経費削減効果となった。

	取組前（A）	取組後（B）	B / A
燃料の種類と使用量	A 重油：28kL/10a	A 重油：11kL/10a	39 %
加温に係る燃料経費①	296.8 万円/10a	116.6 万円/10a	—
対策に係る追加費用②	—	70 万円/10a	—
対策による収益減 ③	—	75 万円/10a	—
① + ② + ③	296.8 万円/10a	261.6 万円/10a	88 %

注) 重油単価・106 円/L

【今後の課題】

切り花価格低迷の中での更なる生産コスト低減

【問い合わせ先】

新潟県農総研園芸研究センター 専門技術指導担当室（電話：0254-27-5555）